

令和7年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 令和6年度

大綱 5 環境

政策 1 環境先進都市のまちづくり

施策 1 脱炭素社会への転換の推進

施策 2 資源を大切にする社会システムの形成

施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進

提出日 令和7年7月11日

提出取りまとめ 環境部

第4次総合計画 施策の評価シート

評価対象年度 令和6年度	大綱 5 環境	政策 1 環境先進都市のまちづくり
めざすまちの姿 持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち		

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
5-1-1 脱炭素社会への転換の推進	節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギー利用の促進に率先して取り組むとともに、市民、事業者に対しても、啓発や情報発信を行います。また、開発事業を持続可能な環境まちづくりに誘導します。熱中症による健康被害を回避するため、国とも連携し、基礎調査や啓発活動、情報発信などの取組を進めます。
1 環境政策事業	・施策指標1の「市域の年間エネルギー消費量」については、節電や省エネ努力等の効果により、家庭部門、業務部門ともに昨年度から微減している。
2	・施策指標2の「市域の年間温室効果ガス排出量」については、算出に用いた排出係数が増加したことが起因して増加している。引き続き、市として率先行動を行うとともに、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民・事業者に対しても、市の率先行動に準じた更なる取組を促す施策を展開することが求められる。
3	・施策指標3の「市域の太陽光発電システム設備容量」については、市が率先して再生可能エネルギーを導入し、市民・事業者に対しては、府の太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業を周知し、普及促進を図っている。
4	・ENECHANGE株式会社との「吹田市内の普通充電設備の普及に向けた連携協定書」に基づき、公共施設5施設にEVの普通充電設備を設置した。
5	・吹田市環境まちづくり影響評価条例及び環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、開発等を行う事業者に対し、再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入等の誘導を行っている。
6	・熱中症対策に関する環境省のモデル事業を受託して、特に熱中症リスクが高い高齢者に向けた、効率的・効果的な啓発活動を図るとともに、積極的な情報発信を行い、健康被害の低減に努めている。
7	
8	
9	
10	
5-1-2 資源を大切に社会システムの形成	ごみの発生を抑制し、資源の再使用を促進するとともに、リサイクル率の向上を図るため、市民や事業者と連携しながら啓発活動を進めます。また、安定的に廃棄物処理を行えるよう、処理施設の計画的な維持管理・長寿命化を行います。
1 ごみ処理事業	・施策指標1の「マイバッグ持参率」については、前年度に比べ、0.4ポイント減少し、82.4%になった。
2 し尿処理事業	・施策指標2の「市民1人当たりの1日のごみ排出量」については、家庭系ごみの排出量が減少し、事業系ごみの排出量が微増した結果、前年度に比べ、7g減少し、766gになった。
3 産業廃棄物対策事業	・食品ロス削減講座、市民向けごみ減量講習会及び事業者向けごみ減量講習会を実施している。
4 資源リサイクル事業	・市民の良好な生活環境を守り、市が廃棄物を適正に処理することを目的として、市及び市から委託を受けた者以外の者が、ごみの集積場所から資源物を無断で持ち去る行為を禁止し、パトロールを実施することで、指導・啓発を行っている。
5	・一般廃棄物処理実施計画に基づき、一般廃棄物（し尿）を適正に収集運搬している。
6	・浄化槽については、浄化槽法に基づき、維持管理に必要な保守点検・清掃及び法定検査の受検などについて指導啓発に努めている。
7	・資源循環エネルギーセンター及び破碎選別工場等における施設の計画的な維持管理に努めている。
8	
9	
10	
5-1-3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進	公害及び産業廃棄物の不適正処理の未然防止・早期解決のため、事業者への助言や指導を行います。また、良好な生活環境の維持や環境衛生の充実、自然共生への理解の促進を図るため、啓発活動や情報発信などの取組を進めます。
1 環境汚染対策事業	・施策指標1の「公害に関する苦情を解決した割合」については、年度によるばらつきがあるものの長期的には上昇傾向にある。引き続き、苦情に対し迅速に対応することにより良好な生活環境の保全を維持している。
2 地域環境衛生事業	・施策指標2の「環境美化推進団体の団体数」については、一部団体が登録更新を行わなかったことにより、登録団体数が前年度より減少した。環境美化推進団体の確保に努めることで、市民の環境美化に対する意識を高める必要がある。
3 地域環境保全事業	・環境汚染対策事業のうち、南吹田地下水汚染対策事業について、地域全体の地下水質及び地下水流動を測定するとともに、高濃度汚染域及びその周辺において、3本の揚水井戸による地下水浄化を進めている。
4	・大阪府と協働して糸田川の河川清掃作業を行い、河川環境の美化を図っている。
5	・江坂公園及び豊津公園に卒煙支援ブースを設置し、令和5年度にJR岸辺駅及びJR吹田駅に設置した卒煙支援ブースと合わせて適切な管理に努めるとともに、路上喫煙防止啓発員（4名）による効果的な啓発活動を実施している。
6	
7	
8	
9	
10	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

< 施策指標等の推移 >

5-1-1 脱炭素社会への転換の推進												目標値 (令和10年度)
施策指標 1		市域の年間エネルギー消費量（単位：PJ）										13.1PJ以下
年度	策定時 (平成27年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	18.9	20.4 (平成28年度)	19.3 (平成29年度)	17.4 (平成30年度)	17.1 (令和元年度)	15.4 (令和2年度)	17.0 (令和3年度)	16.8 (令和4年度)				
進捗状況		C	A	A	A	A	B	A				
施策指標 2		市域の年間温室効果ガス排出量（単位：千t-CO2）										1,092千t-CO2以下
年度	策定時 (平成27年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	1,873	2036 (平成28年度)	1807 (平成29年度)	1495 (平成30年度)	1440 (令和元年度)	1358 (令和2年度)	1406 (令和3年度)	1468 (令和4年度)				
進捗状況		C	A	A	A	A	B	B				
施策指標 3		市域の太陽光発電システム設備容量（累計）（単位：万kW）										3.5万kW
年度	策定時 (平成28年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	1.5	1.9	2.0	2.1	2.3	2.5	2.7	2.9				
進捗状況		A	B	B	B	B	B	B				
5-1-2 資源を大切に作る社会システムの形成												80% (目標値改訂) 87%
施策指標 1		「マイバッグ」の持参率（単位：%）										
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	44.1	77.5	79.6	83.0	82.1	82.4	82.8	82.4				
進捗状況		S	A	A	A	A	B	B				
施策指標 2		市民1人当たりの1日のごみ排出量（単位：g）										760g以下
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	843	861	850	833	816	796	773	766				
進捗状況		B	B	B	A	A	A	A				
5-1-3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進												80%
施策指標 1		公害に関する苦情を解決した割合（単位：%）										
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	68.1	69.0	56.2	73.6	65.4	78.8	74.7	76.8				
進捗状況		B	B	A	B	A	B	A				
施策指標 2		「環境美化推進団体」の団体数（単位：団体）										40団体 (目標値改訂) 60団体
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実績	24	23	25	24	28	45	49	47				
進捗状況		A	A	B	A	A	A	B				

SDGsのゴールに関連する施策および施策指標と評価

No	施策指標	1 持続可能な開発のための人	2 持続可能な開発のための水	3 持続可能な開発のための健康と福祉	4 持続可能な開発のための質の高い教育	5 持続可能な開発のためのジェンダー平等	6 持続可能な開発のための清潔な水と衛生	7 持続可能な開発のためのエネルギー	8 持続可能な開発のための経済成長	9 持続可能な開発のための産業、科学、技術	10 持続可能な開発のための公平な社会	11 持続可能な開発のための持続可能な都市と地域	12 持続可能な開発のための持続可能な消費と生産	13 持続可能な開発のための気候変動	14 持続可能な開発のための海洋資源	15 持続可能な開発のための陸域生態系	16 持続可能な開発のための平和と公正	17 持続可能な開発のためのパートナーシップ
1	市域の年間エネルギー消費量（単位：PJ）	A	-	-	A	/	-	A	-	A	/	A	A	A	A	A	/	A
	市域の年間温室効果ガス排出量（単位：千t-CO2）	B	-	-	B	/	-	B	-	B	/	B	B	B	B	B	/	B
	市域の太陽光発電システム設備容量（累計）（単位：万kW）	B	-	-	B	/	-	B	-	B	/	B	B	B	B	B	/	B
2	「マイバッグ」の持参率（単位：%）	-	B	-	B	/	-	-	B	-	/	B	B	-	B	B	/	B
	市民1人当たりの1日のごみ排出量（単位：g）	-	A	-	A	/	-	-	A	-	/	A	A	-	A	A	/	A
3	公害に関する苦情を解決した割合（単位：%）	A	A	A	A	/	A	-	-	-	/	A	A	-	A	A	/	A
	「環境美化推進団体」の団体数（単位：団体）	B	B	B	B	/	B	-	-	-	/	B	B	-	B	B	/	B